

2026年1月9日

阪神グループ各社の活動を未来志向で紹介する 「阪神“たいせつ”ストーリー（会社編）」が始まります

- ・2024～25年に展開した「開業120周年編」に続く新シリーズ
- ・1月13日（火）からポスター・ウェブ・デジタルサイネージで展開
- ・初回は、阪神電気鉄道・阪神園芸・ミマモルメ・大阪阪神タクシーが登場

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）をはじめとする阪神グループでは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンを掲げて推進するブランド価値経営の具体的な活動を未来志向で紹介する「阪神“たいせつ”ストーリー（会社編）」を、1月13日（火）から展開します。

これは、阪神電気鉄道開業120周年に合わせて、2024年10月から15回にわたって展開したポスターシリーズ「阪神“たいせつ”ストーリー（開業120周年編）」※に続くものです。

※ 阪神グループの三つの提供価値「あたたかさ」「ほんまもん」「先進性」の視点から、「120年ずっと、想いはひとつ」のキャッチコピーで、当社やグループ各社による過去～現在の活動を写真とともに紹介。

会社編の初回は、次の四つの活動を紹介します。

【先進性】

- ・甲子園エリア自動運転バス実証実験「甲子園スマートエコライン」（阪神電気鉄道）
- ・大阪梅田ツインタワーズ・サウスで描く「みどり」を核としたまちづくり（阪神園芸）

【あたたかさ】

- ・ロボットプログラミング教室 プログラボが見守るチャレンジ（ミマモルメ）
- ・街のタクシー会社がお届けする地域と暮らしをつなぐ守口市乗合バス（大阪阪神タクシー）



「阪神“たいせつ”ストーリー（会社編）」の詳細は、以下のとおりです。

- 1 掲出開始日 2026年1月13日（火）から順次
- 2 掲出場所 阪神電車車内（車内吊りポスター）
主要駅構内（ポスター枠、デジタルサイネージ等）
グループ施設（阪神甲子園球場（野球開催日）等）
「“たいせつ”がギュッと。」ブランドサイト（www.hanshin.co.jp/taisetsu/）
- 3 内容 ✓ 多種多彩な事業がつながり集まった「阪神ブランド」を表現した虹色エレメントの上下に、2社の活動を共通の提供価値（あたたかさ・ほんまもん・先進性のいずれか）に関連付けて紹介
✓ 「各社で実際に活躍する従業員」と「活動を象徴するシーン」で構成（当該活動に対する従業員の想いをコピーで表現）
✓ 各社の活動とグループのブランド価値の繋がりに言及しつつ、阪神グループの輪郭や多様さをお客様にお伝えする内容
- 4 今後の展開 次回は2026年5月頃を予定しています。

阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。



以上